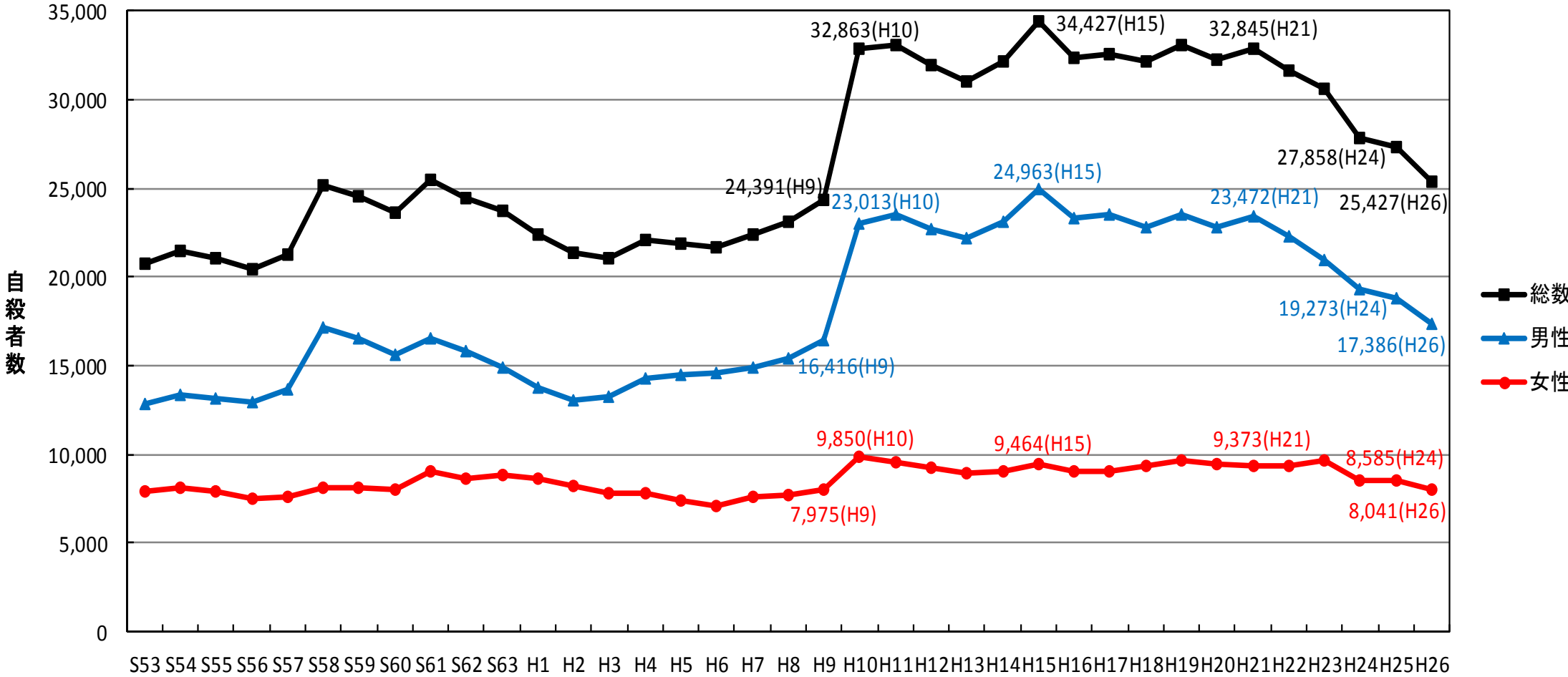


自殺者数の年次推移

○平成26年の自殺者数は25,427人となり、対前年比1,856人(約6.8%)減。平成10年以來、14年連続して3万人を超える状況が続いていたが、3年連続で3万人を下回った。

○男女別にみると、男性は5年連続、女性は3年連続で減少した。また、男性の自殺者は、女性の約2倍となっている。

(単位:人)

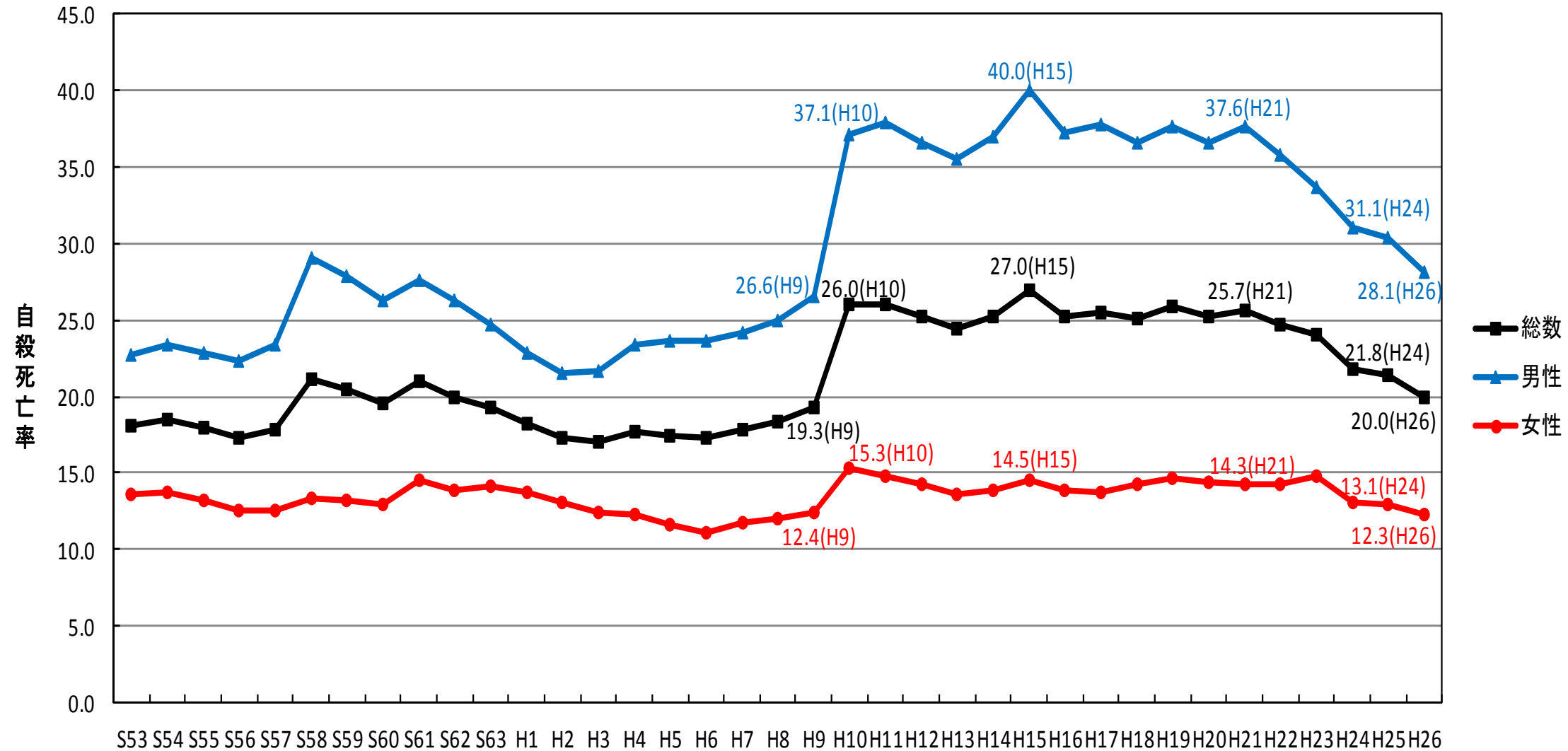


資料: 警察庁自殺統計原票データより内閣府作成

総数及び男女別自殺死亡率の年次推移

○平成21年以降低下が続いており、平成26年も前年より低下した。

○男女別にみると、男性は5年連続、女性は3年連続で低下した。男性は、女性の約2.3倍となっている。



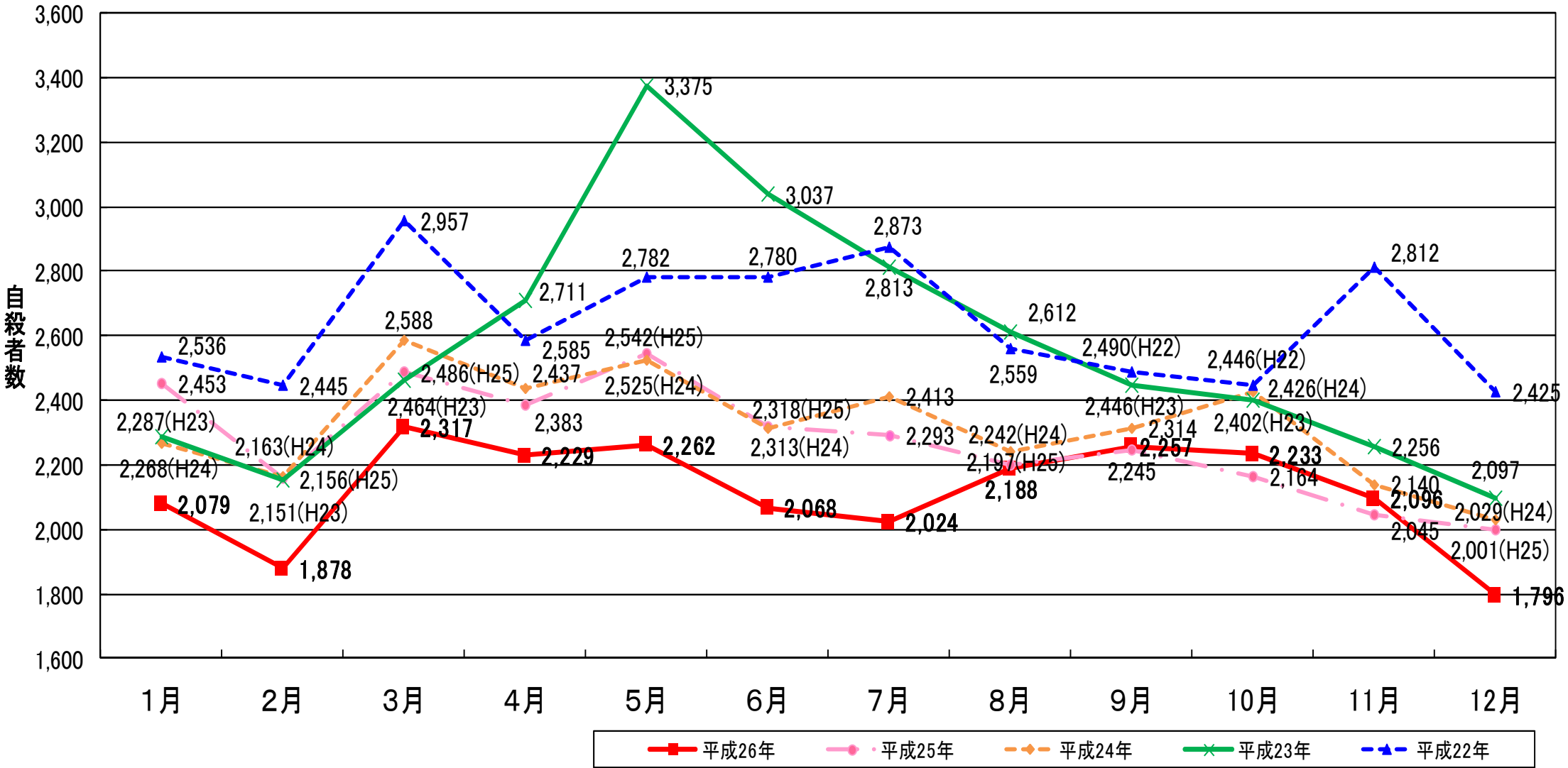
資料：警察庁自殺統計原票データ、総務省「国勢調査」及び「人口推計」より内閣府作成

月別自殺者数の推移

○平成26年は、3月が最も多く、12月が最も少ない。

○平成26年は、9月、10月、11月を除いた各月で前年を下回った。

(単位:人)

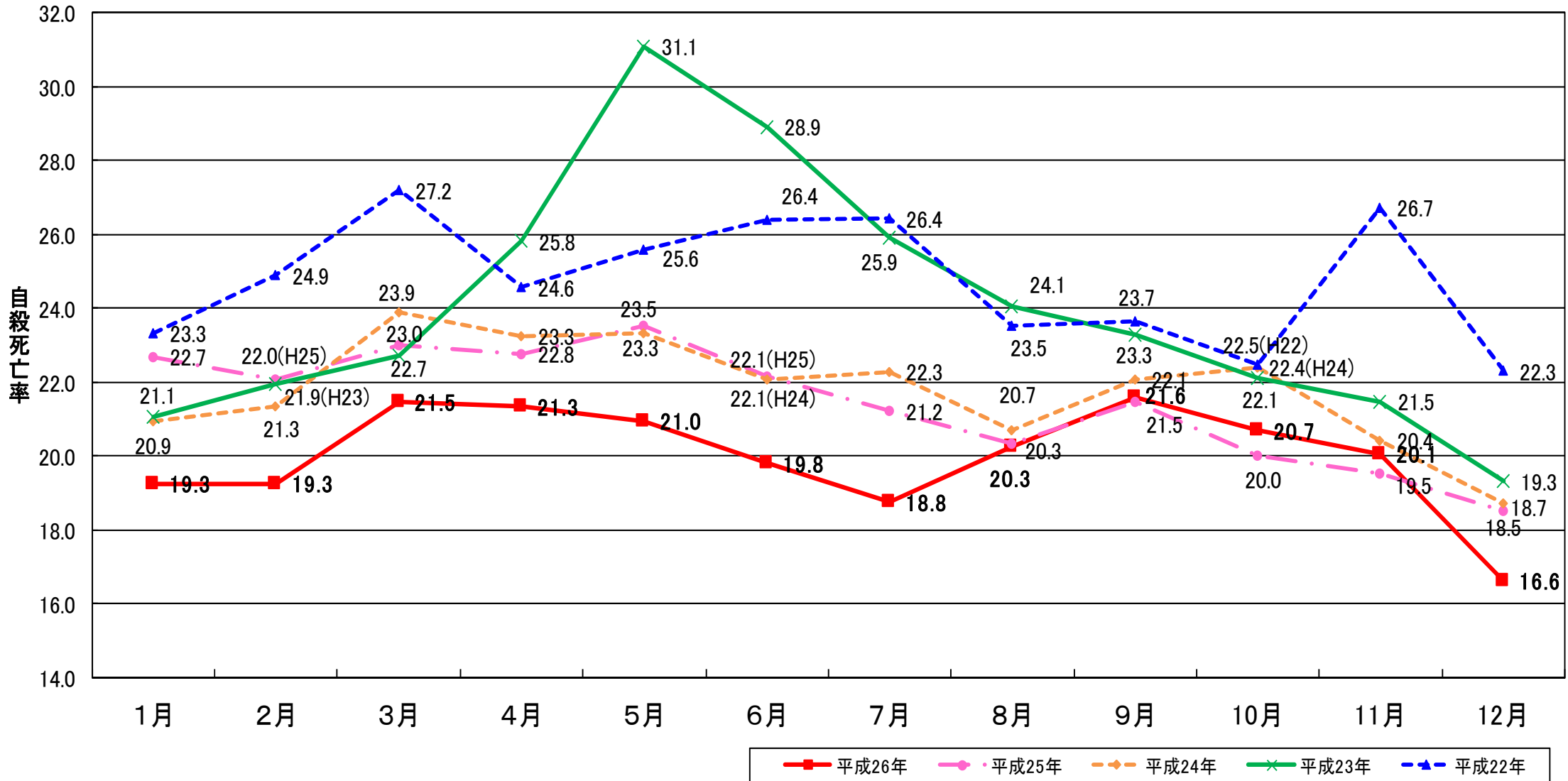


資料:警察庁自殺統計原票データより内閣府作成

月別自殺死亡率(年率換算)の推移

○平成26年は、9月が最も高く、12月が最も低い。

○平成26年は、9月、10月、11月を除いた各月で前年を下回った。



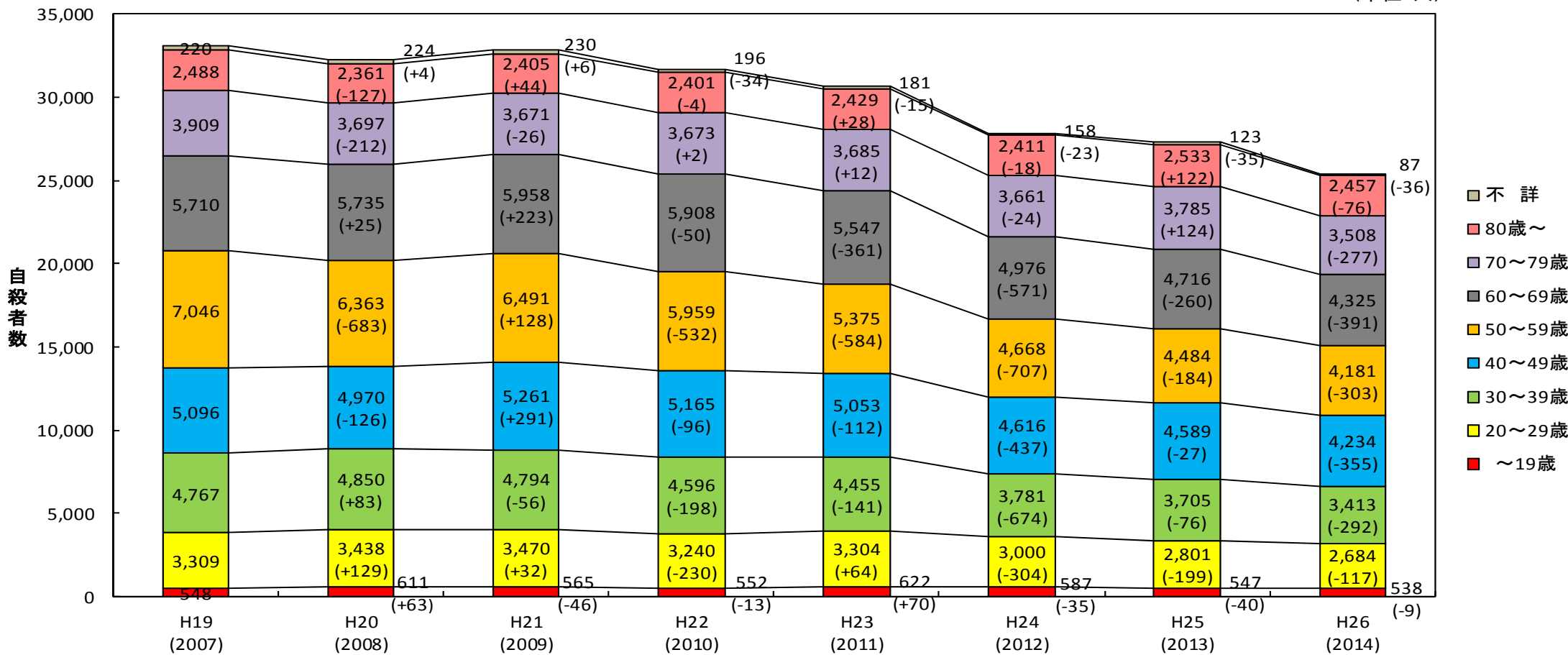
資料:警察庁自殺統計原票データ、総務省「国勢調査」及び「人口推計」より内閣府作成

年齢階級別自殺者数の年次推移

○30歳代は6年連続、40歳代、50歳代及び60歳代は5年連続、20歳未満及び20歳代は3年連続で減少し、70歳代及び80歳以上は減少に転じた。

○平成26年は25年と比較して、60歳代が最も大きく減少し、391人の減少となった。

(単位:人)



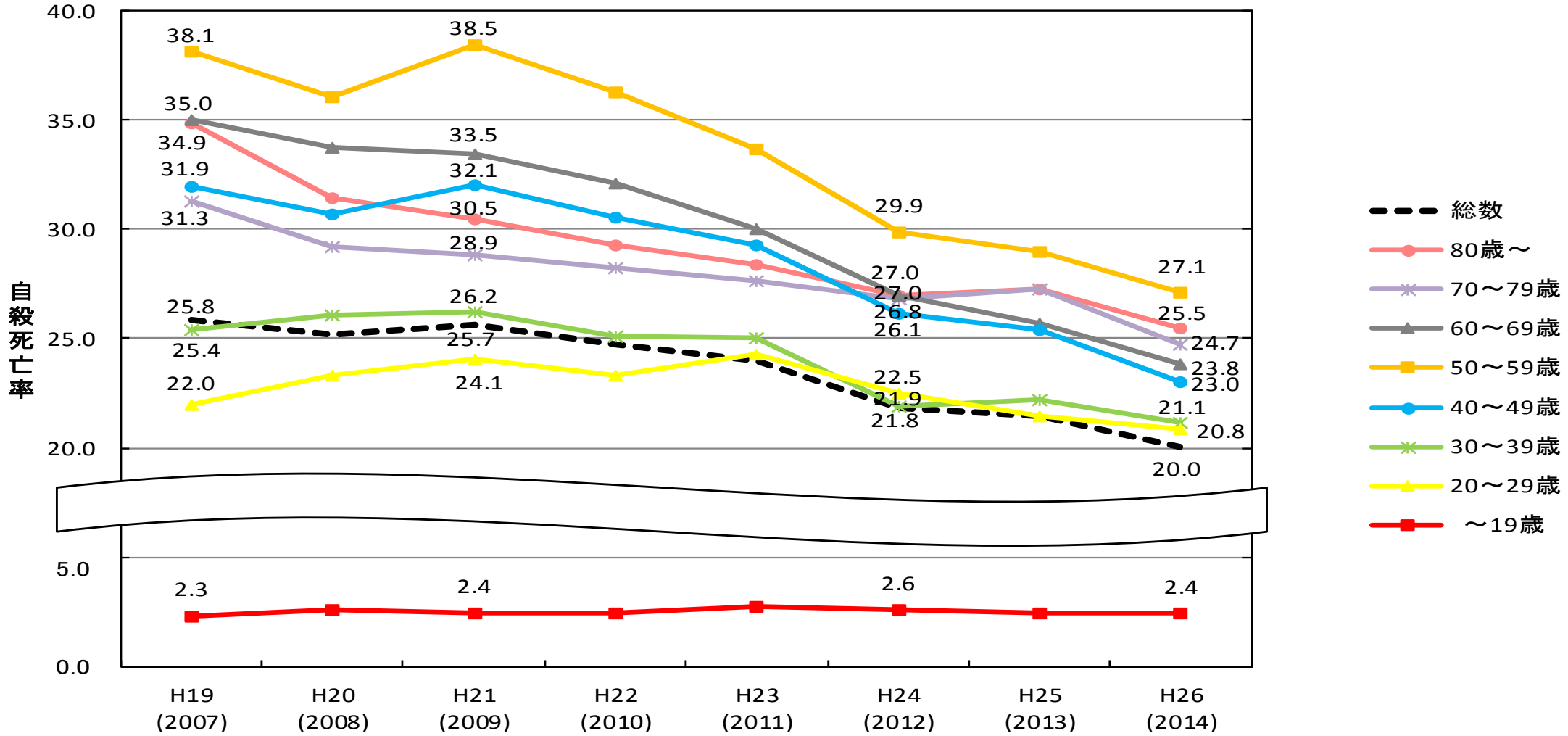
注1)平成18年までは「60歳以上」だが、19年の自殺統計原票改正以降は「60～69歳」「70～79歳」「80歳以上」に細分化された。

注2)グラフ中の値は、上段が自殺者数、下段が対前年差である。

資料:警察庁自殺統計原票データより内閣府作成

年齢階級別自殺死亡率の年次推移

○60歳代は7年連続、40歳代及び50歳代は5年連続、20歳未満及び20歳代は3年連続で低下し、30歳代、70歳代及び80歳以上は低下に転じた。



注) 平成18年までは「60歳以上」だが、19年の自殺統計原票改正以降は「60～69歳」「70～79歳」「80歳以上」に細分化された。

資料: 警察庁自殺統計原票データ、総務省「人口推計」及び「平成22年国勢調査」より内閣府作成

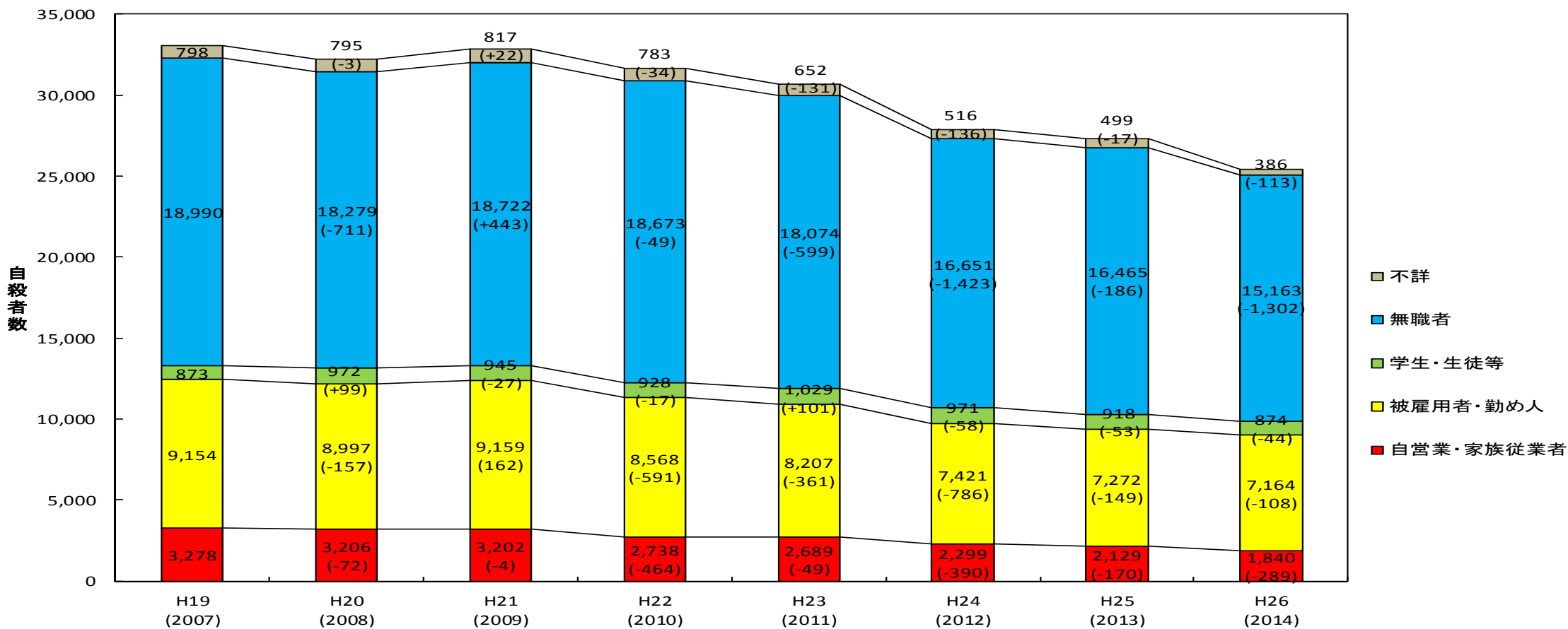
職業別自殺者数の年次推移

○全ての職業において前年から減少した。

○自営業・家族従業者は7年連続、被雇用者・勤め人及び無職者は5年連続、学生・生徒等は3年連続で減少した。

○平成26年は25年と比較して、無職者が最も大きく減少し、1,302人の減少となった。

(単位:人)



注1)平成19年に自殺統計原票を改正し、職業の分類が改められた。

注2)グラフ中の値は、上段が自殺者数、下段が対前年差である。

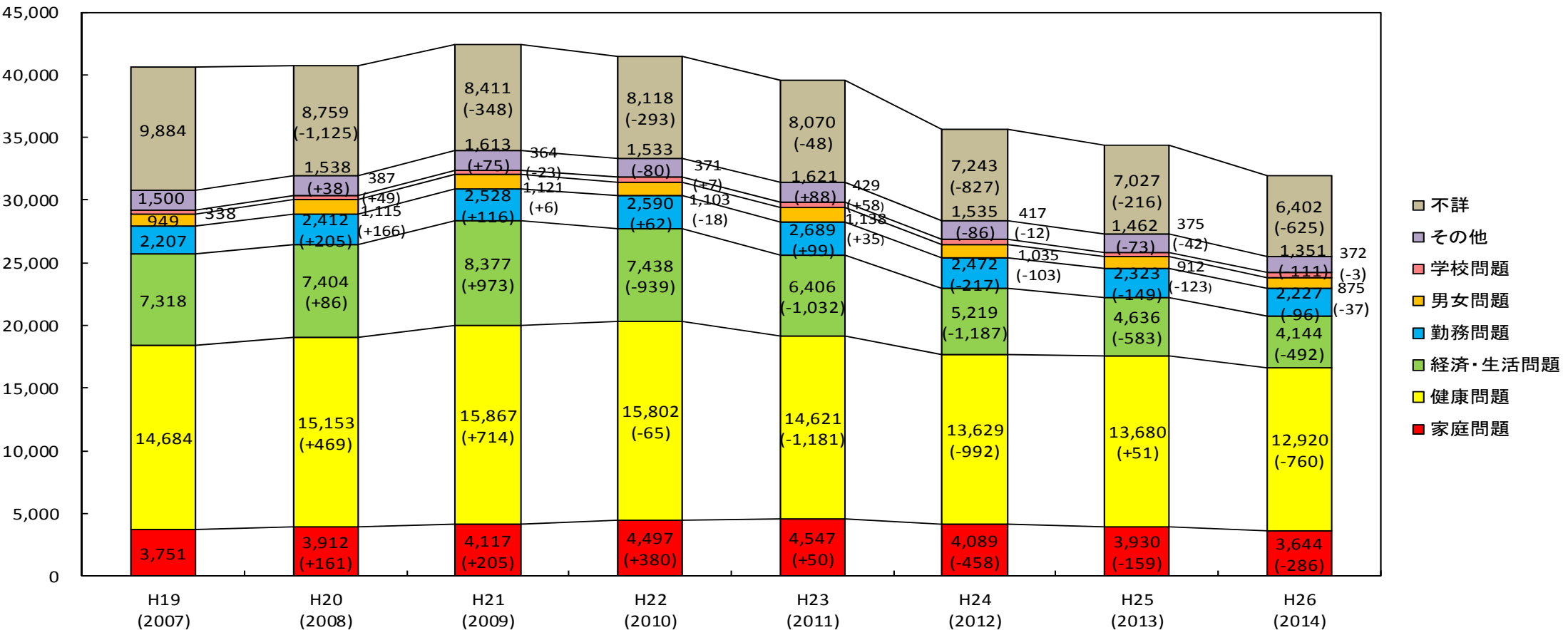
資料:警察庁自殺統計原票データより内閣府作成

自殺の原因・動機別自殺者数の年次推移

○経済・生活問題は5年連続、家庭問題、勤務問題、男女問題、学校問題及びその他は3年連続で減少し、健康問題は減少に転じた。

○平成26年は25年と比較して、健康問題が最も大きく減少し、760人の減少となった。

(単位:人)



注1)平成19年に自殺統計原票を改正し、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を自殺者一人につき3つまで計上することとした。

注2)グラフ中の値は、上段が自殺者数、下段が対前年差である。

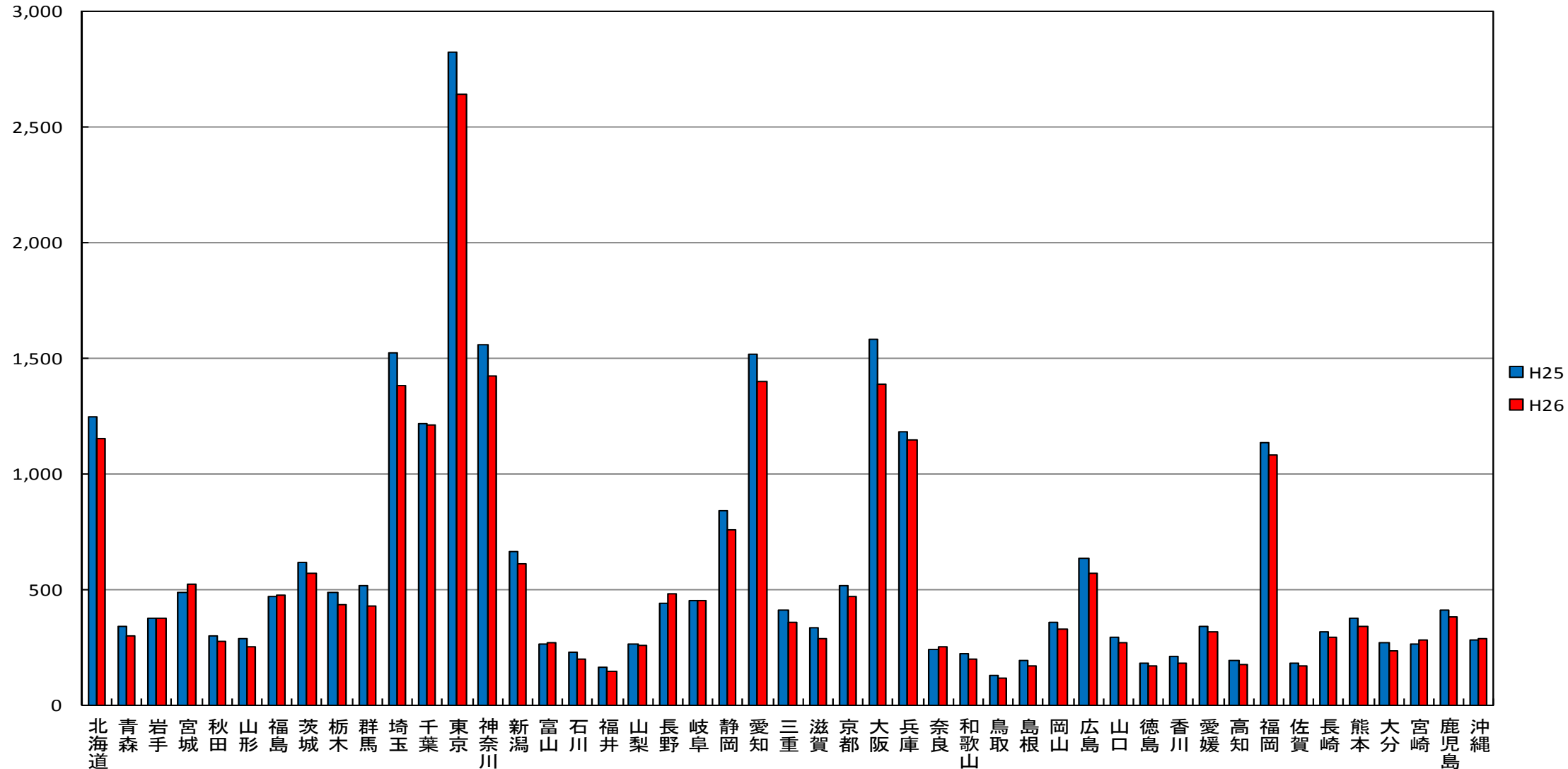
資料:警察庁自殺統計原票データより内閣府作成

平成25年及び26年における都道府県別の年間自殺者数

○平成26年は25年と比較して、38都道府県で減少、9県で増加となった。

○減少幅が最も大きかったのは大阪府で192人、次いで東京都で186人の減少となった。

(単位:人)

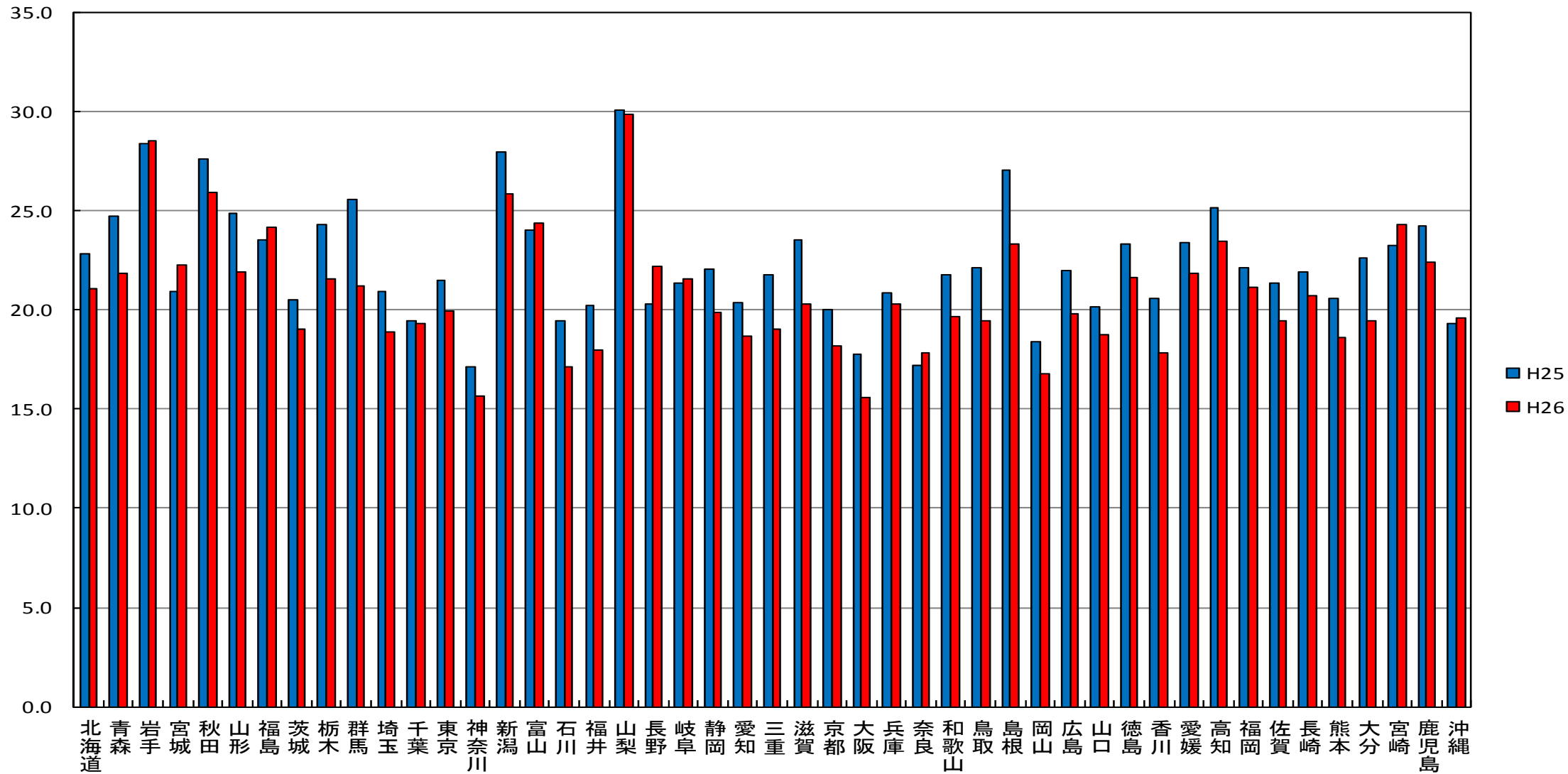


資料:警察庁自殺統計原票データより内閣府作成

平成25年及び26年における都道府県別の年間自殺死亡率

○平成26年は25年と比較して、38都道府県で低下、9県で上昇となった。

○自殺死亡率が最も低かったのは大阪府で15.61、次いで神奈川県で15.63、岡山県で16.8の順となった。



資料：警察庁自殺統計原票データ及び総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」より内閣府作成

東日本大震災に関連する自殺者数

1. 全国合計及び男女別

	合計	男	女	
平成23年	55	42	13	
平成24年	24	18	6	
平成25年	38	23	15	
平成26年	22	11	11	
平成26年	対前年比	-16	-12	-4

2. 年齢（10歳階級）別

	20歳未満	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳以上	不詳
平成23年	1	4	4	4	11	19	7	5	0
平成24年	0	2	4	3	5	5	2	3	0
平成25年	0	4	3	6	13	2	3	7	0
平成26年	1	1	1	4	5	7	2	1	0

3. 職業別

	自営業・ 家族従業者	被雇用・ 勤め人	無職						不詳	
			計	学生・ 生徒等	無職者					
					小計	主婦	失業者	年金・ 雇用保険等生活者		その他無職者
平成23年	10	13	32	1	31	3	6	14	8	0
平成24年	3	5	16	0	16	0	3	7	6	0
平成25年	1	10	27	0	27	6	3	7	11	0
平成26年	1	3	18	1	17	3	1	6	7	0

4. 原因・動機別（複数選択可のため、合計しても上記全国合計等と一致しない場合がある）

	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳
平成23年	11	17	18	7	0	0	10	16
平成24年	5	11	5	2	0	0	4	5
平成25年	5	22	9	5	1	0	3	8
平成26年	5	11	3	2	1	0	1	6

5. 都道府県別

	3県			その他					
	岩手県	宮城県	福島県	茨城県	埼玉県	東京都	神奈川県	大阪府	京都府
平成23年	17	22	10	1	1	2	1	1	0
平成24年	8	3	13	0	0	0	0	0	0
平成25年	4	10	23	0	0	0	0	0	1
平成26年	3	4	15	0	0	0	0	0	0
平成26年	対前年比	-1	-6	-8	0	0	0	0	-1

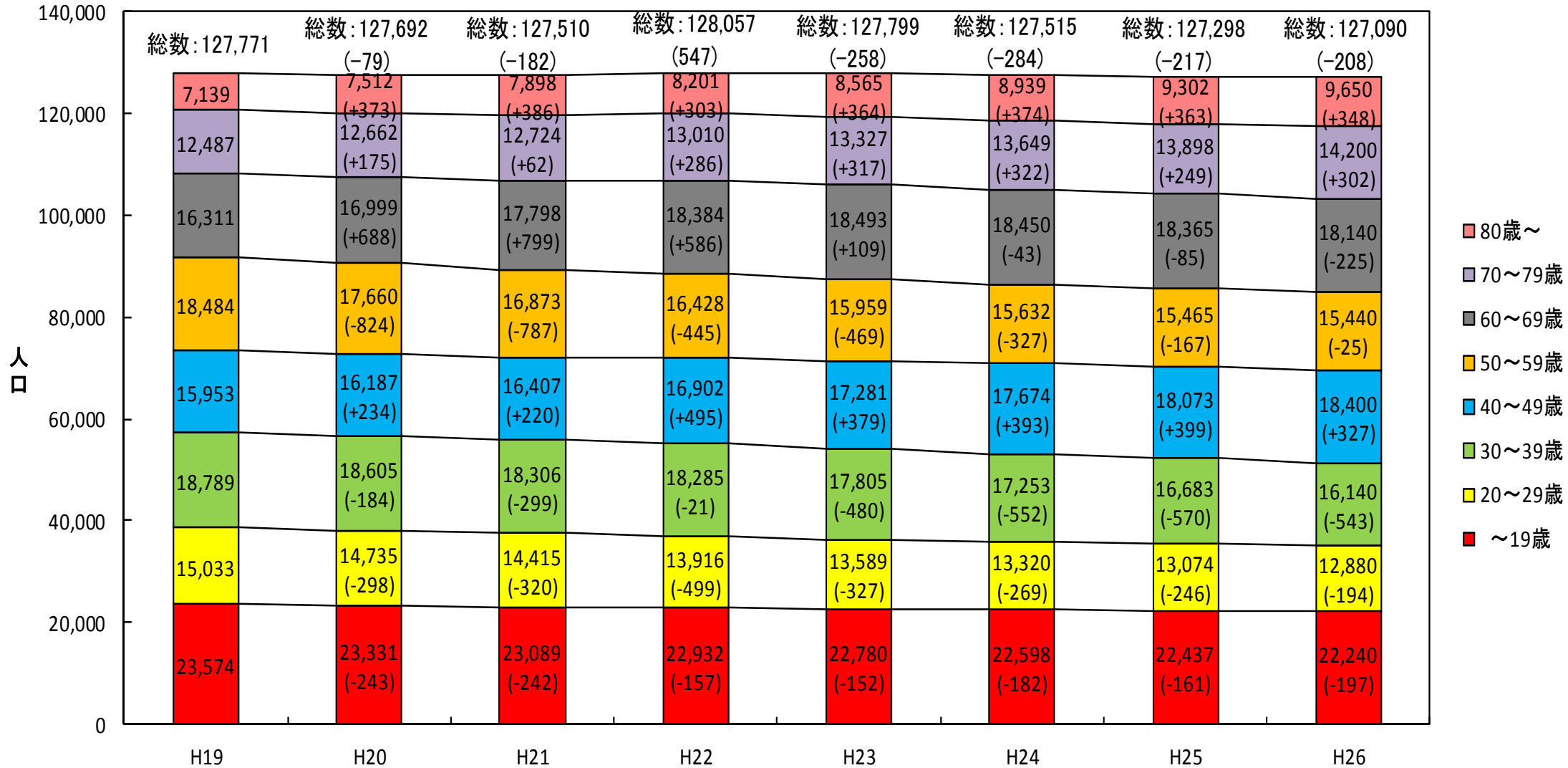
注) 平成23年の数字は、本自殺者数の計上を始めた6月から12月までを足しあげたもの。

また、平成24年から26年の数字は、1月から12月までを足しあげたもの。

(補表)

年齢階級別人口の年次推移

(単位:千人)



注) グラフ中の値は、上段が人口、下段が対前年差である。

資料: 総務省「人口推計」及び「平成22年国勢調査」より内閣府作成